

会報 大ヶ谷戸こだな

発行責任者
大ヶ谷戸小田中町会長 志村 勝
編集 町会広報部
印刷 南中溝グラフィック
044(333)2787

子育て安心・私たちの町会

町会長 志村 勝



会員の皆様、日頃町会の運営にご協力ありがとうございます。また、役員の方々のご苦勞さまで、総会も無事に終わり、新たなスタートをする事となりました。

新年度の新規拡充事業については、ゴミの集積場をいつも清潔に保てるよう新たな集積ボックスを各部に一ヶ所モデル配置する事となりました。また、少子化時代にあつて子育てに悩む若いお母さん方が大変増えています。そこで、育児経験豊かな町会婦人部の皆さんに、育児相談にあたっていただく子育て支援事業に取り組んでいただくことをお願いしております。さらに、各部の事業費も拡充することができました。ご苦勞をお懸けするとおもいますが新たな事業への取り組みをよろしくお願い申し上げます。併せて、今期も子供会と町会はあらゆる面で、連携を取っていききたいと考えます。

学校も週5日制の完全実施となり新たな課題も出てきております。町会役員一同もしっかりと活動を応援していききたいと思っております。

子供会役員の方々の、渡辺会長さんを中心とした一層の活躍をお願い申し上げます。その他、祭礼、盆踊りをはじめ町会主催のスポーツ大会にもたくさんの方々の参加をいただき楽しいイベントとしていきたいと思いますのでよろしく申し上げます。尚、このたび川崎市子供会連盟より渡辺会長が十五年の功労賞を受賞されました。心よりお慶び申し上げます。

本年も、町会としては会員の皆様の立場で、私たちの住むこの町会をよりよくするために様々な取り組みをすすめていきたいと思います。尚、わが町会にも最近、空巢事件がおきています。皆様と一緒に連携を取りあい防犯にも取り組んでいきたいと思います。ご協力をよろしく申し上げます。

今年度の大ヶ谷戸小田中町会の総会は五月二十六日、会館で行なわれた。会長は挨拶の中で、本年度の重点を「みんなの町会」と名づけて、次のように重点を示された。

①高齢化社会を迎えて「地域の中のみんなの手で共に支えあつていく町会」
②子育て支援―若い母親の子育ての悩みに相談し合える町会
③ゴミ問題―カラス対策として集積所の完全施設の充実した町会と、その決意を述べられた。そして、本年度の課題はすべて満場一致で可決され、温かい雰囲気の中で終了した。

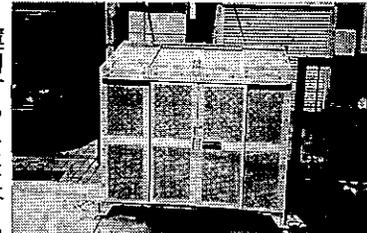
あと、今回は「こんな町にしたい」というテーマで、出席者の方々に直接インタビューをし、ご意見を聞くことが出来た。

以下、率直なご意見は―

①美しい、花いっぱい町をみんなの手で作りたい。
②町のあちら、こちらに大きな高層マンションが建てられ新しい人たちが住民となられる町の行事などに対して関心が薄い。

とくに、子供たちは同じ学校で学んでいるので、子供会に参加していただき、町に心を示していただきたい。

こんな町にしたい ―出席者の声―



カラスの被害に遭わないゴミ箱

また、その結果についてはいろいろと町会のみな様のご意をお聞きし、さらに来年度より順に増やし、充実していきたい。

そしてゆくゆくはゴミで町が汚れることのない、美しい町にしていきたい。

それにしても、施設を整えることは勿論大切だが、町の住民一人ひとりが「町をきれいにしよう」と関心を示し、実際に態度で示すことがより大切ではないでしょうか。
(広報委員)

また、その結果についてはいろいろと町会のみな様のご意をお聞きし、さらに来年度より順に増やし、充実していきたい。

そしてゆくゆくはゴミで町が汚れることのない、美しい町にしていきたい。

それにしても、施設を整えることは勿論大切だが、町の住民一人ひとりが「町をきれいにしよう」と関心を示し、実際に態度で示すことがより大切ではないでしょうか。
(広報委員)

子供会の活動

会長 渡辺 信夫

平成十四年・子供会総会を六月十一日町会長の出席を頂き、開催致しました。

本年四月一日より学校も完全五日制となり、子供たちの自由な時間が多くなつてきました。子供会の行事に参加していつも仲よく、楽しい遊びを通じ、強く明るく育つ場となるよう役員一同、一年間頑張つていきたいと思います。

【運動会を開催す】
第三十四回子供会主催の運動会を五月十一日(日)大ヶ谷戸小学校において開催いたしました。子供達をはじめ、ご来賓・ご父兄・役員約二百名が競技に元気に楽しく参加頂きありがとうございました。

★今後の活動★
年間活動計画に基づいて実施致します。

夏季行事として①ラジオ体操(NHKのラジオ放送に合わせて実施)②プール開放(大ヶ谷戸小学校のプール開放に伴う子供たちの参加)

(以上は七月の予定)

③町会主催の盆踊りの模擬店での協賛出店・祭礼への参加等々予定しておりますので、多数の子供たちの参加をお願い致します。各行事については、その都度子供会に加入されております各ご家庭にご案内状を配布させて頂きます。

●野球部員募集案内●
野球部では部員を募集しております。先ず 監督 徳江幸次 788-12023



●子供会からのお願い●
子供会に加入ご希望の方は渡辺までご連絡下さい。
TEL 755-1207
FAX 755-1207
(綱引き競技参加の父母)

今年度の抱負は

助成金をいただいて

すみれ会・平成十四年度の総会で「本年度も、みんなで力を合わせ、知恵を出し合い楽しい会にしよう」と誓い合いました。そして、本年度の第一回の活動として、坂戸の高橋さん宅の「花菖蒲」を、十七名の会員と共に楽しく観賞することが出来ました。



花菖蒲の見学

楽しみを分かち合う すみれ会

当日参加した方々は、思い思いに次のような感想を語って下さいました。

○二部のNさん
すみれ会の歩く会に参加してよかったです。

○三部Sさん
「本日は晴天なり」と終始笑顔で楽しまれました。

○三部Hさん
「野菜や花を買って帰れた」とも楽しかったです。

○四部Tさん
身近にこんな所があると、は思わなかった。

○四部Mさん
のんびりした一日、とても楽しかったです。

こうした楽しい会を今後も続けて行きたいと思っております。最後に町会より特別のご予算を頂いておりますことに感謝いたします。

「皆さんで力を合わせ 明るい街づくりを！」

婦人部長 齋藤 美代

○五月二十八日婦人部総会は滞りなく終了しました。

○五月三十一日、晴天に恵まれ「可睡ゆりの里」バス研修は、日頃の主婦業を忘れ、大自然を満喫してきました。

○赤十字事業資金は、参拾参万六千五百円でした。大戸社協に納金しました。皆様のご協力に感謝いたします。

○若いお母さん方が、子育てに悩まれているとか、この度

婦人部として「育児相談」として子育て支援事業を行うことになりました。皆様のお力をお借りしたいと思っております。

○町会福祉バザーを行なう予定です。自発的に献品していただきたいと思いますし、またお買上げもお願いします。

○ピッキングによる空巣が連続発生しています。現金、貴金属・パソコンが盗難にあつて見慣れない人がうろついていたら、相手の顔を見てどちらかお捜しですか」と声をかけることにより、盗難防止につながるようです。

今・地域の学校では

その4

「大谷戸小学校編」



学校長 森 妙子

の良さを生かした教育を推進していきたくと思っています。「つばさタイム」(総合的な学習)では、三年生が《町の名人に学ぼう》というこ

り活動では、遊びを中心しながら、上級生がよく下級生の面倒を見、仲良く協力し、とてもよい成果を生み出しています。運動会は四色対抗で上級生のリーダーシップよろしくどのグループも団結力を発揮し、大いに盛り上がりました。

で、町の名人さがしから、二十余名の名人に弟子入りし、小さな職業体験をして学びました。菓子・自転車・風呂屋等々。大勢の方々に関わっていただいた地域への愛着心が一層深まったことと思います。

PTA活動もよき伝統が築かれ、更に発展しています。本年度より資源回収収益金にて各教室に鉢花を飾って下さり、子供達に活動の意義が伝わり、情操教育・環境美化など、幾重にも役立つことと思えます。

「大谷戸小で自慢できることは何?」「大谷戸富士は面白いよ。そして、上級生が下級生の面倒をよく見る」とは子供達の弁。「一人一人をとっても大事にしていますね」と言うのは転動してきた職員、かつて在職した先輩方は、「子供が素直。PTAや地域の方々もいいですね。」と異口同音。

《授業を大切に!知恵を出し、

そんな子供達や学校・地域

この渡しはどうしても利用しなければなりません。時には、牛車を引いた牛が船の中であばれて、川に落ちる事もあったといわれます。ところが、昭和十年五月十一日、いよいよ待望の丸子橋

わたしたちの町から東京へ、今では、いとも簡単に、電車で、車で、自転車で行くことが出来ます。しかし多摩川に橋がなかった当時のことを考えてみて下さい。

この橋の開通によって、東京への通勤通学は勿論のこと何よりも、物資の流通が便利となり、わたしたちの地域が一変しました。東京はわたしたちの生活圏

なればなりません。この渡しはどうしても利用しなければなりません。時には、牛車を引いた牛が船の中であばれて、川に落ちる事もあったといわれます。ところが、昭和十年五月十一日、いよいよ待望の丸子橋

の一部分となったのです。今、東京へ行き来するのは何の不自由もありません。しかし、その背後には多くの人の願いや努力、また協力があつたことを忘れてはなりません。下記の二つの写真を

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

丸

勇気を出し、汗を出そう子供たちのために!」のキャッチフレーズで努力します。

子どもたちの姿



「大使と語ろう エルサルパドル集会」心をこめたもてなしをとでも喜んでくださって感謝!



コーヒー名人に弟子入り。まずはおいしいコーヒーをいただいた。

地域・今昔あれこれ!

丸子橋ができて

丸

丸

丸

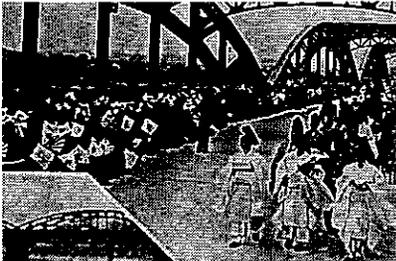
丸

丸

丸

丸

丸



丸子橋の渡り初め式(昭和十年5月11日)



丸子のわたし船(大正10年)

耳をかたむけたい 町の人たちの声

特別寄稿

犬に学ぶ

上田 葵



小田中に住む人々の声!

中原土木のみなさん! 心から感謝しています! 地域住人!

我が家には、三頭の雑種の犬がいる。二頭は三才のオス、一頭は十五才のメスである。オス二頭は、三年前、市の動物管理センターから、もらい受け、十五歳のメスは、知人が、一年程前事情が出来て飼えなくなり、引き取った。この三頭の前にも、十七才と十四才まで生きた、オス二頭を飼っていた。亡くなった時二度と、あの悲しい思いは嫌だと思ひ、飼うまいと決心したものだ。彼らのストリートな正直さ、全身で表す愛情の深さには感銘する。

私達夫婦は、全くの犬バカではあるけれど、彼らのおかげで、健康で仲よく暮らしている。本当に、心から犬たちにありがとうと言いたい。

以前飼っていた犬も、一頭が亡くなった時、遺体のそばに寄りそい、起きてくれと、言わんばかりに泣いていた。犬畜生という言葉があるが、あの悲しみやうを見たら、その言葉は、犬に失礼というものだ。彼らのストリートな正直さ、全身で表す愛情の深さには感銘する。

このように地域の方々の声に耳を傾けて、すぐに対応して下さる行政に心から感謝したいと思ひます。それにして「住民対行政」など対立するのでは、温かい心の通う関係を示したいものです。

編集後記

○会報「大谷戸こだなか」第6号が刊行されましたので、お届けいたします。

○今回の記事を拝見しますと町会の総会では、「みんなの町会」をスローガンとして、美しい町で、みんなが助け合

○また、子供会、婦人部、すみれ会でも、互いに知恵を出し合い、協力し合つて、愛を

○古来の賢人は、愛について、「愛は辛抱強く、また親切で

○とくに、今回特別寄稿いただきました「犬に学ぶ」のお話では、犬同士の深い愛情や

○古来の賢人は、愛について、「愛は辛抱強く、また親切で